

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	科学技術と法		
英文授業科目名	Technologies and Law		
開講年度	2004年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-専門共通科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	小菅 敏夫		
居室	西2-717		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kosuge@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
科学技術と法...近代から現存までの変遷の中で科学技術の果たしてきた役割が重要であることの認識と、科学技術の利用を人間や社会、国家、世界の秩序に相応しいものとするに人類は努力してきた。この授業では、特に情報通信に焦点を絞って、情報通信技術と法について学ぶ。

【前もって履修しておくべき科目】
法学、コミュニケーション科学、コミュニケーションネットワーク等。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
(Blank)

【教科書等】
授業の中で参考資料などを配布する。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

1. 情報通信技術の発展と高度情報社会
2. 情報通信をめぐる法制度
 - 1) 電気通信をめぐる法制度
電気通信行政、電気通信法制、基本法（有線電気通信法、電波法）、サービス運営法（電気通信事業法、放送法）、事業体組織法、国際条約等
 - 2) 情報をめぐる法制度
情報の保護（知的財産権など、ソフトウェア、データベース）、情報ネットワークの保護（システムの脆弱性、セキュリティ、ネットワーク犯罪等）、個人情報/プライバシーの保護
3. 高度じょうほう社会への情報通信制度
電子情報ネットワーク/ユビキタス社会への法的課題...インターネット、電子商取引、電子政府、電子マネー、情報の国際流通と法制度等。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

レポート及びクラスでのテーマ研究の発表等をもとに評価する。出席状況も考慮する。

【オフィスアワー：授業相談】

人間コミュニケーション学科事務室で公表する研究室のオフィスアワーを確認し事前にアポイントメントをとること。

【学生へのメッセージ】

情報社会の基本的法制度を理化しその枠組みを御互いに守ることを前提とし、社会の責任ある一員になることを目指して学習して欲しい。

【その他】